

業 務 瓦 版

2013年 6月28日

第 16 号

J R 東海 労新 幹線 地本
業 務 部

SMTと団体交渉開催！

< 出向先会社の労働条件改善で団体交渉 >

新幹線地本は2013年6月28日、発第7号「団体交渉開催の申し入れ」について新幹線メンテナンス東海株式会社（SMT）と団体交渉を開催しました。

組合員の声に基づいて出向先会社の労働条件改善のために協議しました。

申し入れ内容および回答については以下の通りです。

《 新幹線メンテナンス東海株式会社との団体交渉回答について 》

1. 協議内容： J R 東海 労幹 地発 第 7 号、 2013 年 5 月 29 日 付 による
新幹線メンテナンス東海株式会社と（SMT）との団体交渉
2. 開催日： 2013 年 6 月 28 日 9 時 30 分 より
3. 会場： プラザ八重洲北口 3 F 7 A 会議室にて
4. 交渉員： 組合側；成田委員長、吉井執行委員、土川執行委員、山口執行委員、
伊藤執行委員
SMT 側；佐藤管理課長、岩田車両課長、宇田川採用課長、大内社員課長、石寄社員課長代理
5. 回答内容：以下のとおり（申し入れ事項及び回答のみ）

I. 大井日勤事業所および大井夜勤事業所に関する事項について

1. 平成25年3月16日ダイヤ改正を機に、大井事業所は第一と第二・クリーンサービスが統合され大幅な体制見直しが行われました。しかし、作業の複雑さや事前の説明不足もこれあり、加えて設備・作業環境の悪化もあり恒常的なストレスが蔓延しているといえます。少なからぬ従業員が体調を崩し、いわゆる不参となる事象も連日発生していると聞きます。この現状についてどのように認識されているのか明らかにして下さい。

【回答】

作業体制の見直しを行った。3月、4月は不慣れのため戸惑いもあったかもしれないが、徐々に定着しつつあると考えている。体調不良で欠勤する社員は一部の限定された社員であり、組織体制の見直しが原因であるとは考えていない。

2. 昨年末から現在までの短期間に多くの従業員が退職されています。聞くところによると40名を上回る人数に達するともいわれ、特に統合前に顕著に現れました。そして、今なお続いていると聞きます。なぜこれだけの方々が急に退職されたのか、そのことに対して御社はどのような認識にあるのか明らかにして下さい。因みに私たちは「昨年来から手当が減収となった」「拘束時間が長い」「マニュアルが見直され作業量が増えた」「年休が取れない」「社員登用の枠が減らされる」など、様々な共通の不安や不満が背景にあると認識しています。

【回答】

社員の退職事由は様々であるが、労働条件に問題があるとは考えていない。

3. 短期間に大勢の方々が退職されたことで、この数ヶ月年休抑制が続いています。申請しても全く取得できません。職場では点呼時に労働災害防止や体調管理について連日のように言われますが、今のままでは体調管理等は到底おぼつきません。出向でお世話になっている組合員も療養を余儀なくされました。また、いわゆる超勤（休日出勤）が連日発生しており、管理者が毎日個々に要請しています。中には月に数回も休日出勤したという方もいると聞きます。このような状況が今後も続くとさらに従業員が疲弊して、労働災害や健康上の支障が発生するなど、さらに年休の抑制が拡大される事態に至るのではないかと危惧されます。

したがって年休がとれるように十分な要員の確保を求めます。また、大量の新人の確保を求めます。ただし、JRからの出向によらない恒常的な要員の確保を求めます。これから暑い夏を迎えます。今この時期に大量の採用を図るように求めます。あわせて、これ以上の個々の事情によらない退職を生み出さないために、賃金面での待遇改善や準社員から正社員への登用を大量にはかるなど環境改善も同時に求めます。

【回答】

業務遂行に必要な要員は当社が責任を持って確保している。

4. ダイヤ改正から大井事業所が統合されJKビルに集約されました。そのため、ロッカー室も詰所も点呼場も手狭となり、洋式トイレも不足し落ち着かない状況が余儀なくされています。例えばストレッチ体操の際には隣の人とぶつかりとても体操といえない状態です。また、点呼も聞き取れないほど騒然としています。点呼前に詰所に待機するも座るところがなかったりします。

このような状況を解消するために、点呼場のスペースを拡大したり、詰所を別に確保するなどゆとりある作業環境にすることを求めます。さらにSMTビルの活用や第一検修庫にあられた詰所を新設などを求めます。また、JKビルの2F通路は、出勤時となると大勢の従業員の手荷物でいっぱいになる状態が見受けられるため、「荷物置き場」の設置により整理整頓された状態になるように対策を求めます。

【回答】

現状で対処されたい。尚、トイレの洋式化に対しては、既に関係箇所から要望を受けて対処することになっている。

5. 検修庫の暑さは毎年厳しい状況が続いており、サービスデッキの上下、作業中の車内など体温を優に越すような職場環境となっています。熱中症対策などソフト、ハード両面にわたって万全なものとするを求めます。

具体的には、サービスデッキ上に冷水機もしくはそれに類する水分補給を可能とする設備を配置することを求めます。また、スポットクーラーなどでクールダウンできる設備の配置を求めます。特に第二検修庫は設計が古いため屋根は低く、排気機能も弱いため熱がこもってしまい、作業中の体力消耗が激しいため早めの対策を求めます。

【回答】

必要な対策はとっている。

6. 大井事業所の体制見直しにより出勤時間が20分早くなった勤務があります。そのため、夜勤手当が減額となりました。多くの従業員は通勤バスを利用しています。しかし4時発しがなく、実質拘束時間の延長となっています。また出勤時間が20分早くなったことにより下回りの手当が減額するなど発生しています。17時半出勤に戻すなどの改善策を求めます。また、今後あらたな業務が増えた場合は相応の手当を保障することを求めます。

【回答】

勤務時間の変更は、業務上の必要に応じて実施したものであり、見直す考えはない。

7. 体制見直し以降、勤務（班体制）が複雑・多岐になっています。勤務表については、確実な勤務予定の把握および出勤のために個々に毎月コピーを許可することを求めます。現実にコピーできないことから出勤日や出勤時間の勘違いが複数回発生しています。その防止のためにも必要です。

【回答】

勤務についての必要な情報は渡している。

8. 通勤バスの運行について、SMTの就労条件に合わせて改善すべき点が多々あると認識しています。従って、具体的には以下のような増便を求めます。

- (1) 交検がない日の朝は、品川駅発7：35発で乗り残しがあり、次の7：55分まで20分間バスはありません。よって、7：45分発の増便を求めます。
- (2) 交検がない日の総合事務所棟発について、17：25では乗り残しがでています。雨の時などは傘を差したままバスを待ち長蛇の列で、17：40分を待っていますが、17：40分でも乗り残して17：55分を待っている状況です。よって、17：35分と17：45分発の増便を求めます。
- (3) 3時10分終業の勤務があることから、総合事務所棟発を4：00より早い便を新設することを求めます。

【回答】

通勤バスの設定は JRおよび協力会社の出退勤時間帯を設定しており、現状で問題ないと考えている。

Ⅱ. ターミナル事業所に関する事項について

1. 山本修さんについては健康・体調管理上のことから、東京駅ホーム派出もしくは品川駅車椅子担当への担務変更を求めます。

【回 答】

人事運用は会社が業務上の必要性に応じて責任を持って行っている。

2. 点呼場が以前から狭く、ストレッチ体操では隣の人とぶつかるような状態です。点呼場のスペースを拡大し、ゆとりのある環境にすることを求めます。

【回 答】

現行どおりとする。

3. 第7・第8・第9ホーム下のズック置き場のスチール柵については破損している箇所あり、ズックを取り出す際に思わぬ事故や怪我を発生させる危険があるため、早急に修繕をすることを求めます。

【回 答】

関係箇所から既に要請を受けており、新しいズック入れに入れ替える方向で検討している。

4. ターミナル事業所では、作業時においても出入証をストラップで首からぶら下げ胸に結着していますが、作業中にこの出入証が何かに引っ掛くことがあり思わぬ事故や怪我の原因となる心配があります。又、引っ掛かったことに気が付かず紛失する恐れもあるため、出入証について作業中はポケットに収納することを基本とし、必要な際には提示するというようにすることを求めます。

【回 答】

駅構内従事員の統一した作業基準であり、当社単独で見直す考えはない。

Ⅲ. その他の事項について

1. 私たち新幹線地本はJR東海新幹線鉄道事業本部に対して、JR東海労幹地申第25号「ダイヤ改正に伴い発生している諸問題に関する申し入れ」を行い、その中で『関連会社に業務を委託する費用を増やし、出向社員、関連会社社員の労働環境改善をはかること。』と、契約単価を上げるよう申し入れています。是非とも御社におかれましても同様に主張されるなど、SMTにとって必要な収入の確保をはかるように対処していただくことを要請いたします。

【回 答】

契約については当社が責任を持って対応していく。

以 上

*私たち新幹線地本は職場の組合員・社員の声をもとに、安全で働きやすい労働条件および職場環境の改善に向けて、今後も会社に申し入れを行い問題解決に向け協議していきます。問題点や要望事項等があればJR東海労新幹線地本までお知らせ下さい。